



ふる ばやし

京都府議会議員

vol. 12 2024.03

古林よしたか 府議会報告

ずっと住み続けられる まちへ

京田辺市 井手町
宇治田原町

[発行] 古林よしたか 〒610-0334 京田辺市田辺中央3丁目3-1プレステージ壱番館106号 TEL.0774-64-7078

furubayashi-yoshitaka.com

新たな公共交通ネットワークで京都府南部の活性化を

私は、京都府議会の令和5年9月定例会一般質問において「京都府南部環状線構想」を提案しました。「京都府南部環状線構想」とは、誰もが住み慣れた地域で生涯にわたって安心して豊かに暮らせるようにするために、京都府南部地域において新たな公共交通の基盤整備を行い、公共交通の環状ネットワークを形成することで、京都府南部地域の持続可能な発展を実現させる構想です。

現在の京都府南部地域における公共交通基盤である鉄軌道を西側から東側へ順番にあげていくと、阪急京都線・JR京都線・京阪電鉄本線・JR学研都市線・近鉄京都線・JR奈良線があります。ただ、これらは全て南北を結ぶ鉄軌道であり、南北軸の公共交通基盤は一定程度整備されていると言えますが、その南北に走る鉄軌道を東西に結ぶ鉄軌道は存在していません。

現状、これらの圏域で東西を結ぶ公共交通網としては、民間バス事業者が運行する路線バスや各市町のコミュニティバスが存在しますが、乗合交通は鉄軌道のような広域交通ではなく、また市町村の境界でサービス量が低下する懸念もあります。

そこで例えば、図(※裏面参照)に示していますように、南北に走るそれぞれの鉄軌道を東西に結ぶ新たな公共交通基盤を整備し、京都市営地下鉄とも繋がる「京都府南部環状線構想」が実現できれば、各地域ごとの交流が活発になり、京都府南部地域は今後さらに大きく発展することができます。

人の活動の根源は「移動」することです。そして、その「移動」を円滑にするための公共交通基盤の整備と一体となったまちづくりを推進することで、あらゆる産業振興・まちなかの活性化・子育てしやすく誰もが安心して暮らせる福祉の充実・災害にも強いまちづくり等を実現できます。

また、こういった交通と一体となったまちづくりを進めることで、将来の新名神高速道路の全線開通や、北陸新幹線の新駅設置の恩恵を広域にわたって最大限に享受でき、東京一極集中の解消や生産性向上による実質所得の上昇にも繋がります。これこそ、現在私たちが直面している急激な人口減少、コミュニティの弱体化、孤立化、実質所得の伸び悩み等の深刻な問題を解決するための、具体的な方策だと考えます。

このように、公共交通をはじめとする都市基盤は、政治・経済・文化・娯楽といったあらゆる人間の生活・活動の土台となるものであり、**都市基盤の改善なくして、安心・安全で豊かな暮らしを実現させることは不可能**です。私たちが現在「当たり前」だと思っていた暮らしは、先人の方々が長年にわたって都市基盤の改善に汗を流し続けてきてくださった、崇高な営みの蓄積のおかげだということを決して忘れてはなりません。

私は、こういった先人の方々のご努力・想いを継承し、私たち住民が共有する願いを実現させるために「京都府南部環状線構想」へ、お一人でも多くの方に共感いただけますよう取り組み、皆様方とともに「ずっと住み続けられる地域づくり」に力を尽くしてまいります。

みんなが快適に住みやすい地域へ

人と交通のネットワーク強化

公共交通が暮らしやまちづくりに与える影響のイメージ



step 01 まちづくりに交通の視点を取り入れた政策の実施

step 02 バス・鉄道などの公共交通の整備・活性化

step 03 まちのにぎわい創出

step 04 誰もがいきいきと暮らすずっと住み続けられるまちへ

人の交流と交通の流れの好循環が
住みやすいまちのカギとなる!

古林良崇 プロフィール

昭和58年2月19日生まれ
大住保育園 卒園／大住小学校 卒業
大住中学校 卒業／洛南高等学校 卒業
関西大学法学部政治学科 卒業

▶2006年～
花住坂店オーナー、福祉系の民間企業、地元の不動産会社で勤務
▶2012年～
株式会社関西リーガル設立 代表取締役 就任
▶2015年～
衆議院議員秘書として勤務(2018年7月まで)
▶2019年
京都府議会議員選挙 当選(現在2期目)



furubayashi.yoshitaka@gmail.com



古林よしたか

京都府議会議員

環状線構想

京都府
南部